



一般社団法人 日本鋼構造協会

鋼構造シンポジウム2020

—最先端の鋼構造技術で明日を拓く—

日本鋼構造協会では、協会活動成果の発表および会員ならびに鋼構造関係者相互の交流の場として、2004年より「鋼構造シンポジウム」を開催しています。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、全体プログラムは規模縮小の上、WEBによる開催といたします。主な内容を以下のプログラムにまとめましたので、ご覧ください。

なお、会員企業によるパネル展示並びにご参加の皆様による交流・懇親パーティーは、中止といたします。

期 日： 2020年11月19日(木)～20日(金)

開催方法： オンライン開催+オンデマンド配信 (JSSC ウェブサイトよりアクセスください)

業績表彰・受賞記念講演は関係者のみ参加とし、受賞講演内容をオンデマンドで配信します。

<お問い合わせ>一般社団法人 日本鋼構造協会「鋼構造シンポジウム2020」係

TEL : 03-3516-2151 FAX : 03-3516-2152 E-mail : JSSC-INFO@jssc.or.jp

URL : <http://www.jssc.or.jp/symposium/index.html>

プログラム

各行事の主な内容は以下の通りです。(状況により変更される場合があります。敬称は略させていただきます。)

アカデミーセッション (第28回 鋼構造年次論文報告集講演会)

19日(木) 10:00～17:30 オンライン開催
20日(金) 10:00～17:30 オンライン開催

当協会では、1993年度から「鋼構造年次論文報告集」を刊行し、掲載論文・報告の講演会を鋼構造シンポジウムの場で“アカデミーセッション”として継続開催し、鋼構造に関わる研究者・技術者および学生の発表の場、情報交換の場として例年ご好評をいただいております。

28回目の開催となる本年度は、オンライン会議システム(Zoom ウェビナー)を用いたリアルタイムでの講演会を実施する予定としております。例年セッションごとに行っている若手研究者(35歳以下)を対象とした“優秀発表表彰”もオンライン上で行います(賞状、副賞は別途郵送)。また、一般聴講の方には事前に参加登録をいただいた上で、ご参加いただくこととしております。(※詳細の情報は、随時ホームページでアップいたします)

コロナ禍で各種対応が大変な折りですが、ぜひ奮ってご参加いただけますよう、お願いいたします。

資料：「鋼構造年次論文報告集 第28巻(CD)」(事前登録による購入価格 会員：4,000円+税、非会員：4,500円+税)

2020年度 鋼構造研究助成事業 選考結果報告

19日(木)よりオンデマンド配信予定

学術委員会(委員長：竹内徹(東京工業大学教授))で実施している鋼構造研究助成の2020年度の選考結果に関する委員長の報告と助成対象となった方々の研究内容のプレゼンテーションを収録し、オンデマンド配信します。

	研究テーマ	助成先
1	H形鋼梁の横座屈に対して屋根折板の補剛剛性が発揮できる屋根折板-梁接合部の開発	廖 望 東北大学大学院 工学研究科 都市・建築学専攻 材料構法創生学研究室
2	曲げ変形による CFRP 接着鋼板の非剥離破壊設計法の開発	三枝 玄希 独立行政法人国立高等専門学校機構 呉工業高等専門学校 建築学科助教
3	加熱矯正プロセスの高精度化・効率化および加熱矯正技術の国際発信	廣畑 幹人 大阪大学大学院 工学研究科 地球総合工学専攻 社会基盤工学部門准教授

日本鋼構造協会業績表彰・受賞記念講演

20日(金)午後より受賞記念講演をオンデマンド配信予定

日本鋼構造協会では、1995年より鋼構造およびその複合構造に関する技術の向上や発展普及に功績があると認められる業績に対して表彰を行って参りました。今年度の業績表彰対象者は、表彰選考委員会(委員長:野上邦栄(東京都立大学))の厳正な選考を経て、今年6月の定時社員総会にて発表されました。今回、表彰式および受賞講演を非公開で行いますが、各賞の受賞記念講演の様相をオンデマンド配信いたします。

(下記の所属先・社名等は、竣工時・発表時現在)



【業績賞】愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)の設計と施工
(©株式会社エスエス)

日本鋼構造協会 業績賞

●愛知県国際展示場(Aichi Sky Expo)の設計と施工

(株)竹中工務店

●The Okura Tokyoの設計と施工

大成建設(株)

●ダイヤゲート池袋の設計と施工

(株)日建設計

小坂橋 裕一、木村 征也、中溝 大機、高田 好秀、
早坂 聡紘

大林・西武建設工事共同企業体



【業績賞】The Okura Tokyoの設計と施工
(©三輪晃久写真研究所)

日本鋼構造協会 論文賞

●局部座屈を伴う角形鋼管柱の一般化塑性ヒンジ法による弾塑性解析プログラム

佐熊 海^{*1}、多田 元英^{*1}、安井 佑里花^{*1}、向出 静司^{*2}

[^{*1}大阪大学大学院、^{*2}大阪工業大学]

●火災を想定した加熱冷却履歴を受けた橋梁用高降伏点鋼の機械的性質

廣畑 幹人^{*1}、寺口 大輝^{*2}、北根 安雄^{*2}

[^{*1}大阪大学大学院、^{*2}名古屋大学大学院]

●サブマージアーク溶接による先組みビルトH梁端接合部の塑性変形能力

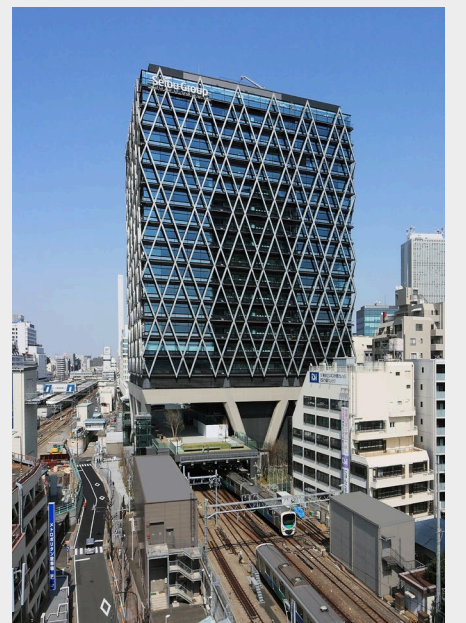
田淵 基嗣^{*1}、中野 達也^{*2}、浅田 勇人^{*3}、高塚 康平^{*4}、田中 剛^{*5}、志村 竜一^{*6}、福元 孝男^{*7}、遠山 和裕^{*8}、鎌倉 和彦^{*9}、藤沢 清二^{*10}、板谷 俊臣^{*11}、島野 幸弘^{*12}、大塚 英郎^{*13}、一戸 康生^{*14}

[^{*1}神戸大学、^{*2}宇都宮大学、^{*3}神戸大学、^{*4}京都大学、^{*5}神戸大学、^{*6}日鐵住金溶接工業(株)、^{*7}(株)JKW、^{*8}藤木鉄工(株)、^{*9}ヤマネ鉄工建設(株)、^{*10}JFEスチール(株)、^{*11}(株)永井製作所、^{*12}(株)竹中工務店、^{*13}(株)大林組、^{*14}新日鐵住金(株)]

●低層ブレース構造の被災後補修に関する一連の研究

仲田 章太郎^{*1}、吉敷 祥一^{*2}

[^{*1}東京工業大学大学院、^{*2}東京工業大学]



【業績賞】ダイヤゲート池袋の設計と施工
(©株式会社エスエス東京 東京支店)